

世間の不正に“喝”!!

貧乏神社「世直し不動」が開眼

飯田

風変わりな祭神と参拝作法で知られる飯田市大瀬木の貧乏神社境内に、石像の「世直し不動」が建立され六日、開眼式が営まれた。高さ二・一メートル、幅一・七メートルの顔だけを刻んだ巨大な不動尊は迫力満点。厳しいまなざしで、世間の不正に“喝”を入れている。

(須田唯仁)

同神社の祭主、桜井鉄 ちはなはだし世の中を 森藤繁治さん(右) 飯田 福さん(左)が昨年末「殺 救い、はびこる不正に天 市鼎一色」に制作を依頼 したとされたニューズばかり 罰を下したい」と不動尊 が入る。政財界の癒着 の建立を亮案、石彫家の 日ごろから、桜井さん



貧乏神社の境内に建立した「世直し不動さま」を制作した森藤さん(右)と桜井祭主 飯田市大瀬木

と同じ気持ちを抱いている森藤さん。依頼を快諾すると、伊豆七島の新島(東京都)に向いて、良質な火山石である五ヶ近しい抗火(こうか)石を買い付け、飯田の工房に運び入れて制作を開始した。森藤さんは抽象的な石

彫を得意にし、石仏制作は初めてだったというが「抗火石は二百年前の噴火で形成された石。そのパワーを感じながら制作することで、わずか三カ月で完成できた」と話す。不動尊は、右目が正面を、左目は下方を見据えている。「天地眼」といって、すべてを見通していることを表している」と森藤